

THE ART FUCHU 2024 事業報告

名称: THE ART FUCHU 2024-暮らしと表現の芸術祭-

開催期間: 2024年11月29日から年12月8日

開催場所: 府中市内と隣接地域の42ヶ所の会場

主催: NPO 法人アーティスト・コレクティブ・フチュウ (ACF)

後援: 府中市、むさし府中商工会議所、府中市商店街連合会、株式会社まちづくり府中

配布した公式ガイドブックおよびガイドマップ 約15000部

ご協賛:48件

事業内容:

2024年11月29日から12月8日の10日間で府中市内と隣接する地域42ヶ所の会場で51のアートに関する催しを開催した。ギャラリー、アトリエ、カフェなどの飲食店をはじめ、大東京総合卸売センター(府中市場)や府中市郷土の森公園など府中市民が慣れ親しんだ場所も企画開催の会場となった。企画ジャンルは、絵画やイラストの展示、ワークショップ、ライブ、即興演劇、インスタレーション、書道、コンサート、写真展、ライブペイント、パフォーマンス、映像作品、コラージュ、木彫、ゲーム、など多岐に渡った。

本芸術祭では、地域企業から不要になった素材を提供いただき、創造素材として作品に活かす企画を「地アートコラボ」と題し、5組のアーティストが地域企業とコラボレーションという形でアートを展開した。

付帯イベントとして、キテキテ府中とコラボレーションしたFUCHU ARTPARADE(フチュウアートパレード)の企画・運営に携わった。芸術祭のキックオフイベントとして「アートをもっと身近に、アートであそぼう!」をキャッチフレーズに実施し、当日多くの来場者にガイドブックを配布した。

総来場者数: 20898名※概算

広報活動: ウェブサイト、公式Instagram(閲覧数17536)、プレスリリース、WEB広告

成果と課題:

アーティストや企画参加者、会場となった店舗やギャラリー、協賛や素材提供で協力いただいた市内企業、来場者など、THE ART FUCHUを通して新しいネットワークが形成された。今後、このネットワークを途絶えさせず広げていくために、THE ART FUCHUを継続して開催するとともに、より豊かなコミュニケーションが図れる場をアーティスト・コレクティブ・フチュウが提供していく。

生活している場所のすぐ近くが企画の会場になることで、今までアートに興味がなかった層も、気軽に芸術祭に訪れることができた。普段はアートとは関係のない店舗などの会場で、芸術祭の企画を開催したことにより、暮らしのなかの場所がいつも見ている風景から変化し、新たな視点で自分たちが暮らすまちをとらえるきっかけとなった。

またアーティストが企業から提供された不要になった素材を、それぞれの作品やワークショップに活かす、企業とのコラボレーション企画「地アートコラボ」が、5組のアーティストにより行われた。歯科医院から提供された歯型は、彫刻の型として作品になり、輸入スパイスの店舗から提供されたフィリピンバナナが入っていた段ボール箱は、入居者や来場者によって色や、素材が追加され開催期間中に形が変わるアート作品となって老人ホー

ムのエントランスを飾った。芸術祭前にはアーティストが素材を提供した企業を訪問し、アーティストと企業とのコミュニケーションの場をもった。団体として、初めて大学との連携を図る企画を実施することができた。参加者にはアート関係以外の方も多く、アンケートでは芸術祭開催が発表の場をもつきっかけになったとの回答が寄せられた。また、来場者からも次回の開催があったら参加したいという声が多数きかれた。近くで暮らす人たちの表現や創作を見て、自分もやってみたいと思い、次回は企画参加者として参加する方が期待できそうだ。アーティスト・コレクティブ・フチュウは THE ART FUCHU を継続して開催することで「誰もが表現できるまち」を目指す。

反省点:

2018年以降、名称を変えて初めての開催だったため、開催の告知、参加希望者を対象とした説明会の実施が遅れた。その影響で、ガイドブックの作成や広報活動など、スケジュール全体が遅れてしまった。

スケジュールの遅れと人員不足のために広報活動が十分に行えなかった。

- ・ 実行委員の負担軽減を再検討する
- ・ 企画参加者との協力体制を強化する
- ・ 参加者以外でも、ボランティアの募集を行う

今後の展望:

2026年11月～12月にかけて2回目のTHE ART FUCHU 2026を開催、以降2年ごとの芸術祭開催を予定している。次回は早い時期から広報活動に力を入れ、プレスリリースや広報ふちゅうへの掲載、市内の他イベントでのガイドブック配布などSNS以外の広報も実施する。次回以降は市外からの来場者を増加させるため、沿線に駅ばりのポスターの掲示などを検討する。実行委員、参加者、地域が一緒になって作り上げる芸術祭を目指す。

2024年企画者アンケートの声（一部抜粋）:

- ・ 地元府中に、こんなに沢山、アート活動をされている方々がおられる事も知り、お知り合いも増え、嬉しく感じています。
- ・ 地アートを周知させるための事前広報が弱すぎると思いました。会期が始まったら、広報は増えたと思います。が、うちは最初の週末だけの開催でしたので、その効果は半分以下だったと思います。
- ・ 府中はアートのイメージがあまり無かったのですが、期間中色々なイベントがあり、作家の方やお客さんと交流できてよかったです。
- ・ 府中在住の方やそこにお店を構える、土地の人と出会えました。
- ・ 個人だと展示をすることはなかったと思うが、良いきっかけとなり始めての個展の開催に踏み切れた
- ・ 参加のハードルが高くなかったのであまり気張らずに企画し参加できたのが良かった。
- ・ 「スポーツタウン府中」だけが府中ではなく、こうした「文化」にかかわる催しは府中にも必要で大切なことと思うため、次回も参加したい
- ・ 「アートの街府中」を根付かせたい。

2024年参加者アンケートの声（一部抜粋）:

- ・ またやってほしい
- ・ (会場を) 芸術祭で知って初めて来た

- ・（会期後半に来場して）もっと早く知りたかった
- ・学校でチラシを配って欲しかった

以上。本事業にご参加、ご協力、ご賛同くださいました皆様に心より感謝申し上げます。

